

てんさい（2023年）

試験概要：

- 慣行施肥区および減肥区でユートリシャN処理による生育、収量、糖度への影響を確認した。
- 減肥区は作物にとって過酷条件下での効果確認のために設置したものであり、**減肥を推奨したり、減肥下での収量補填を約束するものではありません**のでご注意ください。

試験結果：

- 根部重量：ユートリシャN処理区、無処理区の間で大きな差異は見られなかった
- 糖度：慣行施肥区および減肥区でユートリシャN処理区で糖度の上昇が確認された
- 糖量：重量と糖度から計算した糖量では、ユートリシャN処理区で収量の増加が確認された
- 窒素施用量の少ない減肥区では、より顕著にユートリシャNによる糖度上昇が見られた

試験設計

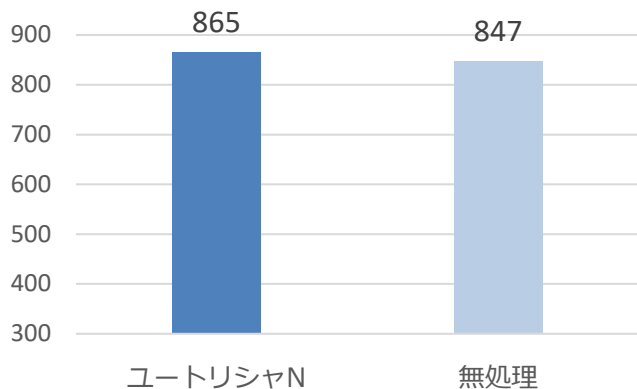
	施肥設計	ユートリシャN 散布
試験区①	慣行施肥 199.5 Kg N/ha	あり
試験区②		なし
試験区③	減肥 132.0 Kg N/ha（33%減*）	あり
試験区④		なし

*減肥はNのみ。PKは慣行区と同等量。

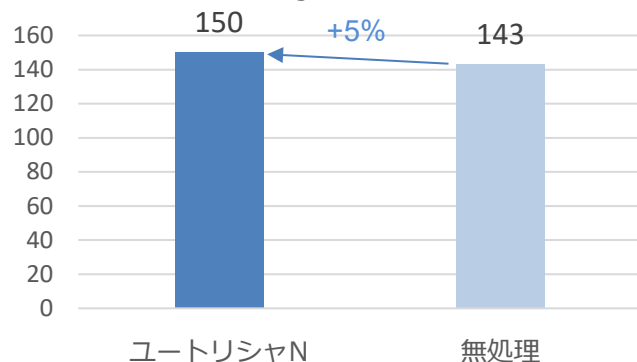
- 試験場所：北海道 ・品種：バラトン 5月13日定植 ・試験規模：1区500㎡、4反復
- 試験方法：慣行施肥区と減肥区それぞれにユートリシャNを1回散布し、無処理区との比較を行った
- 散布方法：移植54日後にユートリシャN（333g/ha）の希釈液（100L/10a）を動力噴霧器で散布した
- 調査方法：10月9日に試験区あたり500株収穫し、根部重量と糖度を計測した。うち各区15株については根部の糖度を計測した。

慣行施肥区

■ 500株あたりの平均重量（Kg）と糖度（BRIX%）

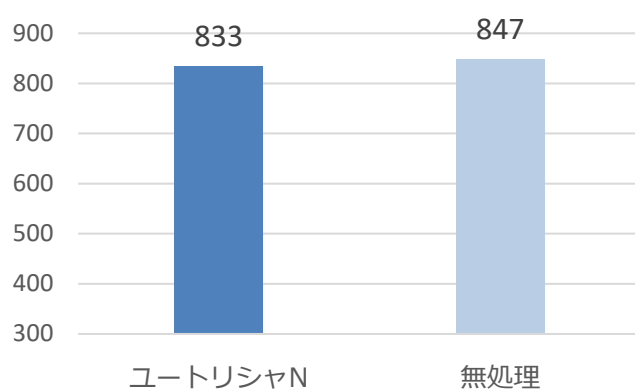


■ 500株あたりの糖量（Kg）



減肥区

■ 500株あたりの平均重量（Kg）と糖度（BRIX%）



■ 500株あたりの糖量（Kg）

